

令和6年度 玉川中学校学力向上グランドデザイン

【生徒の課題】
 ○主体的に自己課題を分析し学習計画に沿って苦手克服するなど、**自己をマネジメントする能力**
 ○学んだことを生活や**新しいことに活用する能力**
 ○話し合いを通して自分の考えを修正したり深めたりする**能力**
 ○自分の**考えを整理し、周りに分かりやすく伝える能力**

【保護者・地域の願い】
 ○**目標に向かい主体的に学習に取り組むことができる。**
 ○困難にぶつかっても努力し困難を乗り越えられる。
 ○自分の考えや意見を分かりやすく他に伝えることができる。
 ○教え合ったり助け合ったりしてより良い人間関係を作れる。

教育目標
 ●健康でたくましく生きる生徒
 ●**自ら進んで学習をする生徒**
 ●思いやりをもち、奉仕する生徒

【重点目標】
 ○自己の計画に沿って主体的に学習に取り組むことができる。
 ○課題解決に向けて周りや協力的に学ぶことができる。
 ○**夢や目標の達成に向けて**根気強く学習に取り組むことができる。
 ○学んだことを整理し相手に分かりやすく伝えることができる。
 ○ICTを効果的に活用し学びに生かすことができる。
 ○**授業で学んだ力を生活や次の授業で活用することができる。**

【いわき市教育委員会】
 「未来をつくる いわきの学校教育ABCプラン」
 ○様々な体験活動・学習支援活動を推進します
 ○教育の「土台」の部分により一層充実します
 ○子どもたちの命を守る取組を充実します

【少人数のよさを生かした実践】
 ○教育の**個別最適化に対応した授業形態の工夫**
 ○**複数教員での指導体制**による手厚い支援
 ○**習熟度に応じた少人数編成**による学力の向上
 ○**安心して自分の意見が言える**望ましい集団づくり

実態把握と計画立案	実践	評価・指導(支援)	国語	社会	数学	理科	英語
<ul style="list-style-type: none"> 全国学力学習状況実態調査の分析と対応策の検討 ふくしま学力テストの分析と対応策の検討 I-SUSによる分析と対応策の検討 学校カルテによる実態把握と対応策の検討 小テストや生徒アンケートによる実態把握 評価を基に各教科における指導目標指導方法の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉から対話型重視への授業改善 授業における振り返りの時間確保 上位下位を伸ばす習熟度別学習 授業等における発表機会の設定 タブレット持ち帰りに対応した家庭学習 ICTの効果的活用 テスト後の振り返り時間の確保 教科担任による学習相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価と分析 各教科における指導目標の評価 学校カルテによる評価 I-SUSによる評価と分析 ふくしま学力テストの経年比較 全国学力学習状況実態調査結果による評価と分析 学力向上対策の反省と次年度目標設定 補充学習による支援 学びの習慣づくり支援 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の知識・表現技法文法の基礎基本を定着させ読解に活用させる。 根拠分析結論の論理的な構成の文章を書くように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の徹底的な反復学習を行う。 社会的事象への興味関心の喚起と表現力向上を目指した授業を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を復習する時間を確保して、基礎基本の定着を図る。 思考・表現力の向上を目指した授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト等復習する時間を確保し、基礎基本の定着を図る。 学習内容を普段の生活と関連付けて授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT等を活用、工夫し、基礎基本の定着を図る。 表現力を高めるために言語活動を充実させる。
			音楽	美術	保健体育	技術	家庭
			<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の課題、自己評価の把握と基礎・基本の定着を図る。 他者との意見交換を充実させ表現力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習を促進するため達成感や自己肯定感を高める自己・相互評価を取り入れる。 基礎基本の習得と学習で身につけた知識技能を活用して創作活動に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、自己の課題に気づき技能習得に向けた反復学習を行う。 学習カードを活用し、思考力、判断力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や技術と関連を図った学習展開の工夫を図る。 学習ノートを活用し学習内容の定着を図るとともに理解定着の確認をしながら授業を進める。(免外) 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の家庭生活等と関連を図った学習展開の工夫を図る。 学習ノートを活用し学習内容の定着を図るとともに理解定着の確認をしながら授業を進める。(免外)

小・中連携
 ○児童・生徒の情報交換による実態の把握
 ○実態に基づく共同授業研究の実施、教職員の交流
 ○9年間を見通した教育課程の編成と保護者への意識化
 ○家庭学習の手引き等の活用と保護者への啓発

学びの習慣の確立
 ○実態調査と結果を生かした学習相談の実施
 ○家庭と連携を図った家庭学習の指導
 ○「**授業→家庭学習→点検・追指導→授業**」の学習サイクルの確立

「主体的・対話的で深い学び」の充実
 ○話し方、聞き方、発表の仕方、話し合いの仕方の定着
 ○自分の考えをわかりやすく伝える工夫(書く・まとめる・記録する)
 ○多様な表現の機会・話し合いの場の設定、ICTの活用
 ○**振り返りの時間確保と次への見通しをもった学び**

玉川中学校の授業は… **夢や目標達成のための基盤をつくります**
 ◇学びの基礎力を身に付けるとともに、学習内容や学習方法の**見通しをもって**、「分かった できた」が実感できる授業を目指します。
 ◇基礎・基本の確実な定着を図りながら、確かな学力の向上に努めます。
 ◇生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな**個別最適**な指導・支援に努めます。
 ◇ICTの活用や授業形態等の工夫により、得意・不得意にかかわらず全体が向上できる効果的な学びの充実に努めます。